

ひかげ 議会だより

No.47

2021.10.15

発行編集：日之影町議会報編集委員会

「1ターンで自然豊かな永住地 日之影！」
山口晃史さん夫婦（竹の瀬）

第3回定例会議案一覧	・	・	P2
令和2年度決算認定	・	・	P3
決算審査委員長報告	・	・	P5
令和3年度補正予算	・	・	P6
所管事務調査報告	・	・	P8
表紙紹介	・	・	P9

令和3年 第3回定例会 議案一覧

議案番号	件名	概要
報告 第7号	健全化比率判断の報告について	実質公債費比率早期健全化基準25.0%に対し本町は5.8%。将来負担比率早期健全化基準350.0%に対し本町は9.2%で健全である。
報告 第8号	資金不足比率の報告について	日之影町国民健康保険病院事業会計、日之影町簡易水道事業特別会計、日之影町農業集落排水事業特別会計いずれも、資金不足は無い。
報告 第9号	継続費の精算について	新庁舎建設事業と防災情報システム整備事業
承認 第12号	専決処分事項の承認について(専決第15号) (令和3年度日之影町一般会計補正予算(第3号))	歳入歳出5,924千円補正し予算総額を4,918,228千円とする。 (感染症対策休業要請等協力金等)
議案 第28号	日之影町過疎地域持続的発展計画の策定について	日之影町過疎地域持続的発展計画を令和3年度～令和7年度まで策定。
議案 第29号	日之影町過疎地域持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定	上記計画に記載された産業振興促進区域内において、振興すべき業種として定める事業所の設備の取得に関する固定資産税の課税免除に関する条例
議案 第30号	日之影町行政手続きにおける押印見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定	申請を行う者の負担軽減に繋げるために日之影町行政手続きに関する押印見直しに関する条例の整備
議案 第31号	日之影町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	成年後見人等の権利権限に係る措置の適正化を図るために条例の一部を改正
議案 第32号	日之影町の財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	普通財産の有効活用を図るため、民間企業が活用する場合、本町への貢献等を考慮し、譲渡価格を時価より減額できるよう改正するもの
議案 第33号	日之影町使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例	個人番号カードの再交付手数料の徴収事務が地方公共団体情報システム機構から各市町村に委託されるため、条例の一部を改正するもの
議案 第34号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	令和2年度に策定した計画のうち、大瀬、小原、追川、見立・鹿川、大菅、松の木辺地の計画の変更を行う
認定 第1号 ～第8号	令和2年度日之影町一般会計及び特別会計7件 歳入歳出決算の認定について	決算特別委員会を設置し、各課の令和2年度予算の執行状況に対し質疑を行い、決算を認定した。 決算審査特別委員会委員長報告および、P3～P5を参照
議案 第35号	令和3年度日之影町一般会計補正予算(第4号)	P6を参照
議案 第36号	令和3年度日之影町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	市町村事務処理標準システム改修に係る補正が主なもの
議案 第37号	令和3年度日之影町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	令和2年度の滞納繰越分水道使用量及び繰越金の確定に伴う補正
議案 第38号	令和3年度日之影町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	令和2年度の滞納繰越分下水道使用料及び繰越金の確定に伴う補正
議案 第39号	令和3年度日之影町介護保険特別会計補正予算(第2号)	介護サービス等諸費、介護予防サービス等諸費の増、過年度の介護給付負担金等の精算及び令和2年度の繰越金の確定に伴う補正
議案 第40号	令和3年度日之影町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	繰越金の確定に伴う補正
議案 第41号	町長、副町長及び教育長給与と条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	町長、副町長の給与に関する一部改正を審議
議案 第42号	令和3年度日之影町一般会計補正予算(第5号)	P6を参照
発議 第2号	日之影町議会の議員の議員報酬費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例 議長、副議長、議員の議員報酬に関する条例の改正を審議	議長の議員報酬に関する条例の一部改正を審議
発議 第3号	日之影町議会会議規則の一部を改正する規則	出産、育児、介護など議員活動と家庭生活との両立を支援するために一部改正
発議 第4号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(案)	地方税財源確保のため、地方歳出に不合理なしわ寄せがされないようにするための意見書

令和2年度一般会計・特別会計 歳入歳出決算

【一般会計】

令和2年度予算総額 **7,501,369,000円**

当初予算 6,514,000,000円	令和元年度からの繰越分 181,666,000円	補正総額 805,703,000円
-------------------------------	------------------------------------	-----------------------------

令和2年度決算

歳入 7,409,267,017円	歳出 7,305,310,756円
	令和3年度への繰越事業財源 50,150,000円
	実質収支額 53,806,261円
	(内27,000,000円を財政調整基金へ)

日之影町国民健康保険病院会計病院事業収益

令和元年度 609,013,393円 **5.8%増** 令和2年度 644,588,028円

令和2年度日之影町国民健康保険事業特別会計決算

歳入 609,487,528円	歳出 606,714,260円
	令和3年度へ繰越 2,773,268円

令和2年度日之影町簡易水道事業特別会計決算

歳入 76,793,931円	歳出 74,494,300円
	令和3年度へ繰越 2,299,631円

令和2年度日之影町奨学資金事業特別会計決算

歳入 13,169,882円	歳出 13,145,483円
	令和3年度へ繰越 24,399円

令和2年度日之影町農業集落排水事業特別会計決算

歳入 16,370,786円	歳出 16,136,102円
	令和3年度へ繰越 234,684円

令和2年度日之影町介護保険特別会計決算

歳入 711,070,197円	歳出 693,416,990円
	令和3年度へ繰越 17,653,207円

令和2年度日之影町後期高齢者医療特別会計決算

歳入 58,677,149円	歳出 58,645,224円
	令和3年度へ繰越 31,925円

総 括 質 疑

■総務文教常任委員会

1. 令和2年度決算を踏まえての分析と総括について伺う

【町長】 2年度は前年比で歳入24.1%、歳出で24.0%増の決算であった。特に財政面においては、新型コロナウイルス感染症対策の地方創生臨時交付金の有効活用により一般財源を使用せず交付金を使つての事業を進め、町単独事業の歳出抑制に努めた。

2. 子育てしやすい環境づくりと未来をひらく教育について

【問】 次世代を担う人材育成において、ICT機器を使いこなすことは非常に重要であるが、問題点はなかったか伺う。

【教育長】 県内でいち早く児童、生徒全員にタブレットを配布し授業で使ってきた。その中で課題としてあった、①児童生徒の情報活用能力の育成（操作スキルのアップ、情報モラルや情報セキュリティに関する知識の習得）、②教える側である教師等の指導力向上、③家庭との連携、④児童生徒のIDやパスワードのセキュリティポリシーの策定などに取組んでいく。

【問】 生涯学習事業の推進や女性学級の開設を行ったとあるが、コロナで中止になり、対応はどうなったか伺う。

【教育長】 生涯学習講座は時期をずらしたり、町内者のみの参加として15講座のうち14講座は工夫しながら実施できた。女性学級も時期や場所を変更しながら実施できた。

3. 町民の健康増進と高齢者等弱者にやさしい町づくりについて

【問】 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策の影響で受診できなかった方へ、どのような対策をされたか伺う。

【町長】 毎年5月に実施していたがん検診は9月に延期、9月に受診できない方は10月実施の国保特定健診への案内をし、日曜受診も実施し、個別訪問や電話による受診勧奨を行った。

【問】 交通弱者に対する買い物支援等の実績について伺う。

【町長】 社会福祉協議会や民間による移動販売等を行っている。社協等の実績については注文の宅配を中心

に実施し、前年度に比べ59.4%増の524件となっている。

4. 災害に強く安全・安心に暮らすことのできるまちづくりについて、ソフト面では、人材の育成・避難所運営・ボランティアコーディネートなどの育成などが考えられるがそれらの課題について伺う

【町長】 大規模な避難や長期化の場合、現在の運用ではまかないきれない状況も予想され、マンパワーをどのような形で確保していくのか課題としてある。防災にはハード・ソフト両面の整備が必要であり、町民に対し常日頃から早めの避難など防災意識の向上に努める。

5. 参画・協働の推進と人材育成について、自治公民館の維持や伝統芸能の継承、地域のリーダーの育成での取り組みについて伺う

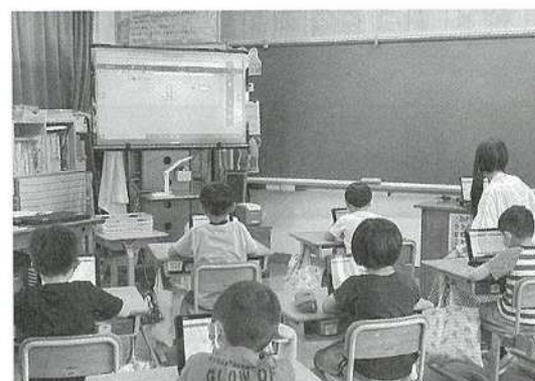
【教育長】 自治公民館の維持については、公民館が産業、文化、防犯等の拠点であり、運営補助や建物の補修・改修等をし、使いやすい公民館としての支援に務めた。地域リーダーの育成は児童生徒に、ふるさと日之影への愛着と誇り、自分の夢に向けての行動ということを意識付けていくように進めている。

■経済建設常任委員会

1. 移住定住の促進と関係人口の創出

【問】 空き家情報システムの運営、住宅取得者に対し段階的な支援策について伺う

【町長】 空き家情報システムにつきましては、登録者の希望により空き家物件の情報提供を行っている。これまで既に35件の登録のうち、28件の使用を行っており、令和2年度も3件の登録を受けている。住むことに対する支援、就労、子育て等に関する空き家空き店舗の活用に対する助成、補助事業を行っていく。



【タブレットを使つての授業】

【問】九州中央自動車道の整備効果による関係人口の創出について伺う

【町長】高千穂日之影道路の全線開通をみたところであるが、確実に県外ナンバー車の増加が見られる。高千穂からの観光客の流れ込みも含め道の駅の売り上げアップにもつながっている。入込客数も35万人、36万人と段階的に上がっており、今後は観光協会との連携を図り関係人口の増加創出につなげていく。

2. 林業の振興

【問】木材利用の促進に向けた取り組みを進め、循環型林業の構築、更には本町林業の活性化に努めてまいりましたとあるが、具体的な内容を伺う

【町長】昭和26年からの拡大造林により75%が需要期を迎えている。木を切って植え育てる循環型林業の構築が重要である。その中で、担い手の確保が最重要課題となっている。森林環境譲与税を活用しアドバイザの指導助言を受けながら、本町がモデルとなるよう支援していく。

3. 交流人口の拡大

【問】地域資源ブランドを活かし、観光や交流人口の拡大へとつなげるため、地域資源ブランド推進協議会

の設置とあるが、協議された内容について伺う

【町長】内容としましては、農林業商工業、観光それぞれのブランド間の連携を大事にしながら、町民の所得の向上、活性化への波及を図っていく。

【問】訪れた方々が本町の魅力を最大限体験できるように本町の資源を活用した体験メニューの拡充を行うとあるがどのようなものか伺う

【町長】本町が指定を受けている森林セラピー事業等の満足度アップの構築を売のあるものにしていく。食農、文化伝統の普及、わら細工の体験等も協力いただいている。合わせて、ラフティング等の環境整備も行っていく。



【九州中央自動車道 高千穂日之影道路開通式】

令和2年度決算審査特別委員会 委員長報告書

本委員会に付託されました、認定第1号「令和2年度日之影町一般会計歳入歳出決算の認定について」から、認定第8号「令和2年度日之影町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について」までの8議案は、決算審査特別委員会を9月10日と14日の2日間の日程で開催し、所管課ごとの審査を実施した。

令和2年度の施策執行については、限られた予算の中、第5次日之影町長期総合計画等に基づき、詳細に渡り審査した結果、各課が所管する事業の実績は評価できる。令和2年度は、国や県による新型コロナウイルス感染症対策事業を積極的に取り入れ、有効活用し、一般財源の支出抑制に繋がった。基金も適正に運用され、財政の健全化判断率も健全化基準を満たしており、行財政運営は大いに評価するものである。

コロナ禍により、地域の行事・イベントの中止等、多くの活動が自粛され、あらゆる分野における経済的な影響は大きく、特に飲食店事業者にとっては憂慮すべき事態である。住民一人当たり10万円を給付する特別定額給付金は、町民に周知徹底を図り県内でいち早く給付することができ、さらに町単独の助成事業を積極的にを行い、

町民に信頼と安心を与えたものである。

学校教育においては、新型コロナウイルス感染症対応の補助金を活用し、町内の全児童生徒に1人1台のタブレット端末を整備し、ICTを用いた学習教育が推進されている。教職員のICT活用能力の差などの問題点も把握し、改善に向けた取り組みもされており、県内のICT学習モデル校として期待するものである。

交通弱者の買物支援は喫緊の課題であり、町社会福祉協議会による支援が講じられているが、利用者の意見集約に努め、近隣市町村の支援事業、移動販売の実証実験などを検討し、弱者に最善の支援が必要である。

中山間地を取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化等大変厳しい状況であるが、行政と議会は情報共有を図り、町民が安心して安全に暮らせる街づくりを目指し、町民の期待に応えることが肝要である。以上、令和2年度決算審査特別委員会でも審査しました、認定第1号「令和2年度日之影町一般会計歳入歳出決算の認定について」から、認定第8号「令和2年度日之影町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について」までの8議案は、本会議で可決すべきものと決定した。

令和3年度 補正予算

今回の補正は歳入補正 **308,773千円** の補正で予算総額 **5,227,001千円** の補正であり、主な歳出は記載のとおりである。



旧庁舎等の解体設計委託料

9,300千円



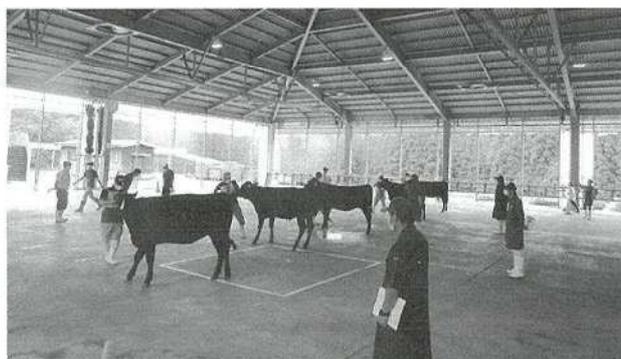
新型コロナウイルス対策交通事業者支援事業補助金

12,100千円



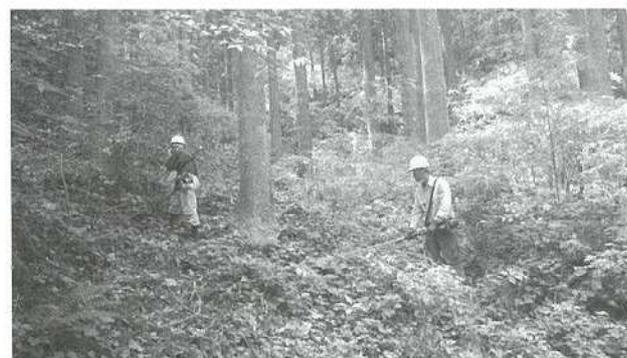
出産祝い金

450千円



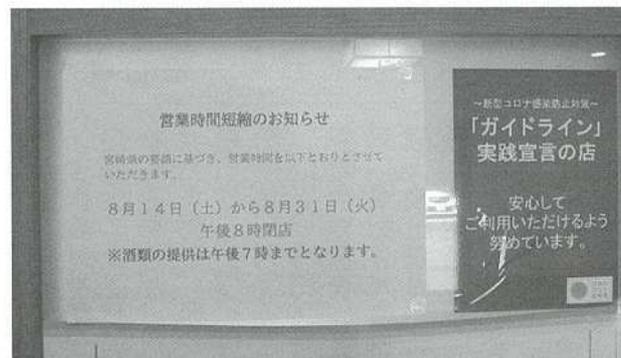
宮崎県畜産競争力強化整備事業補助金

4,801千円



町単森林整備事業補助金及び県単集落防災工事等

22,592千円



感染症対策休業要請協力金等

19,266千円

第3回西白杵郡における地域医療のあり方検討委員会

5月18日に西白杵郡における地域医療のあり方検討委員会が高千穂町役場において開催されましたので、その検討結果を報告します。

総論

長期的に西白杵地域の医療提供体制を存続させるために、西白杵郡3公立病院は以下の方向性を目指すことが望ましい。

総合診療を学ぶ研修フィールドとしての価値提供、ICT導入等による病院職員の働き方改革推進によって、医師をはじめとする病院職員を中長期的に惹きつける病院・地域づくりに取り組む。

西白杵郡3公立病院の建物が活用できる期間（2030年頃まで）においては、3公立病院の既存施設を活用した機能再編を中心に地域完結型医療を目指す。また、西白杵郡3公立病院は一部事務組合による経営統合を早期に実現する。

各論

経営形態

西白杵郡3町の病院事業を、一部事務組合（地方公営企業法全部適用）で経営統合することにより、西白杵郡3公立病院の医療提供体制、及び、経営基盤の強化を目指す。

医師確保

従来の大学病院との関係強化を基本としながら、西白杵郡3公立病院が共同で、多様な医師を確保する取り組みを推進すると同時に、ICT等の活用によって、医師の働き方改革を推進し、医師を惹きつけるような魅力ある病院・地域づくりに取り組む。

医療機能

西白杵郡3公立病院の入院機能は、高千穂町国保病院に急性期機能を集約させる方向で機能再編を進めつつ、その役割に応じた病床数の適正化を継続的に検討する。
ICT等の活用によって、外来／在宅診療の医療提供体制を充実させると同時に、地域住民の利便性も向上させる取り組みを推進する。

第5回公立病院の広域医療等に関する特別委員会



【公立病院の広域医療等に関する特別委員会】

宮崎県と西白杵3町では、これまで3町公立病院（高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町）の今後のあり方について検討を行ってきており、7月5日に3町長に対し「西白杵地域公立病院部会検討報告書」が提出された。今回特別委員会では、7月7日町民ホールにて西白杵地域公立病院統合再編準備室の室長より「公立病院部会検討報告書」の説明を受け、議員8名による質疑が行われ、交付税関係・入院機能のあり方・住民説明会のやり方・各町の奨学金に医療関係のものがあるか等、活発な意見が出された。

所管事務調査報告

■総務文教常任委員会

【期 日】

令和3年7月20日

【場 所】

本庁防災会議室、町内消防施設

【調査事項】

(1) 町防災対策について

①本庁防災会議室及び防災情報システム運営状況について

(2) 町内の防火水槽等の状況について

【出席者】

総務文教常任委員4名

総務課長 課長補佐 消防係長

議会事務局1名

(1) 町防災対策について

①本庁防災会議室及び防災情報システム運営状況について

日之影町における災害対策体制の確立のため、新庁舎に防災会議室の設置及び防災情報システムが導入されていることから、運用状況について調査を行った。

防災会議室は、避難指示等の発令判断や避難所の状況管理など災害応急対策時の様々な情報共有が可能となる体制となっている。

その中で、町の主な災害対応として、日之影町防災情報集約システムを導入し、防災気象情報監視システム、防災カメラ情報収集機能をはじめ、そのほか9種類の複数メディア連携システムにより、有事の際に、町民に的確な情報・指示が出されるようになっており、日頃から消防団や関係機関との連携体制の確立とともに、早めの対応に努めることが重要である。

また、5月に町内全世帯へ日之影町防災マップが配布されているが、避難時の必需品チェックリストや危険箇所の確認など、更に町民の防災意識の高揚につながるよう、防災マップの活用について周知徹底が必要であると考ええる。

(2) 町内の防火水槽等の状況について

防火水槽等の状況については、防火水槽は深角、松の木、大人、糸平の4ヶ所、フェンス張替は椎谷、興地の2ヶ所、地下防火水槽は末市、椈木の2ヶ所、小型ポンプは平底、大菅、椈木の3ヶ所、積載車庫は大菅1カ所、合計12カ所の現地調査を実施した。

防火水槽等については、町内には

227カ所あり、団員の減少などから管理が難しくなってきたり現状をふまえ、周囲の環境や安全性の面からも既存の防火水槽には屋根を取り付ける等、維持管理しやすいように整備をしていく必要があると考え

また、小型ポンプ等においては、管理システムをもとに導入年代の古いものから順番に、毎年計画的に更新されている。今後、人口減少に伴い、消防団員の確保が重要課題と考えられることから、活動の検証や点検記録簿を活用した機器の整備を含め更新に努めることが消防力を維持するためには不可欠と思われる。

■経済建設常任委員会

【目 的】

木材価格高騰による市況調査及び今後の推移等について

【対象地】

高千穂林産物流通センター

【期 日】

令和3年6月26日

【出席者】

経済建設常任委員、林政係長

事務局

コロナ禍の状況下で外材輸入が減

少し国産材の需要が高まり、市況ではウッドショックとも言われ、昨秋の需要期から単価も右肩上がりで見られ、令和2年度との対比では1.5倍で、直近の6、7月での平均単価は17千円、18千円である。特にC材杉単価は強保合で逆に手持ち山林を持たない業者にはなかなか買えない状況にあることは否めない。

市況を分析すると、市場は径級20〜40センチ、長級4メートルが引き合いが強い状況である。西臼杵の土壌や気象条件等、色合いも良く、県内でも評価は高いことから、農林産物的なブランド化は出来ないものか。更には、国、県、森林組合連合会の8森林組合、26市町村が一体となり、杉丸太生産30年日本一を継続維持する為には市町村にそれぞれその地域の材を活用したモデルハウスを設置し、木の持つ多面的特性を活かすことが必要である。更には、木の効能を活用するアロマやストレス緩和等の軽減データが立証されていることについても利用が必要だと感じると同時に、そのことが山を強くすることにも繋がる。今後は、杉の素材等の意識改革や発想の転換も求められる。

尚、これからの単価の乱高下に付いても目が離せない状況である。

表紙者紹介

◆今回は、見立のリフレッシュハウス出羽を管理されている、山口晃史さん（50歳）まゆみさん（44歳）ご夫妻をご紹介します。

問 ネパールから日之影に1ターンされて何年になりますか？

答 ヒマラヤがあるネパールから日之影に来て6年になります。

問 出身地と、日之影に1ターンされた理由は？

答 二人とも神奈川県出身です。友人の話で地域おこし協力隊という制度を知り、日之影町のホームページを見て応募し、ネパールのように自然豊かな町だったので移住を決めました。

問 日之影町の最初の印象はいかがでしたか？

答 とても山深く、きれいな川があり、宮水から下りていく観音坂にはびっくりしました。神楽、大人歌舞伎、団七踊りなど伝統文化に初めて触れ感動しました。食べ物も、鮎や山太郎ガニ、猪、鹿肉など自然のものが豊富にある。釜で炊いたごはんがおいしかったですね。

問 日之影町に移住されて不便なことはありましたか？

答 通勤は50分くらいかかりますが、全く苦になりませんね。水、電気がいつでもあるし、買物も近くに店があるから大丈夫です。ネパールに住んでいたときは、川で洗濯することもあったし、電気がこないこともあったので今の生活には満足しています。

問 リフレッシュハウス出羽の他、英国館、ケビン村を管理されていますが大変なことはありますか？

答 施設が広く、草刈や落葉の片付けなど重労働で大変です。（ちなみに草刈はまゆみさんの仕事！）ケビンに蛇などが入り込み、大騒ぎになったこともあります。

問 お二人の趣味は何ですか？

答 晃史さん：自転車（マウンテンバイク）に乗ること。
まゆみさん：料理をすること。特にカレーは天下一品！（晃史さんの声）

問 最後に、日之影町に1ターンされて良かったですか？

答 大変良かったです！！（二人揃って）

問 最後の最後に、ずっと日之影町に住み続けますか？

答 永住します！！（二人とも素敵な笑顔で）



【リフレッシュハウス出羽で】

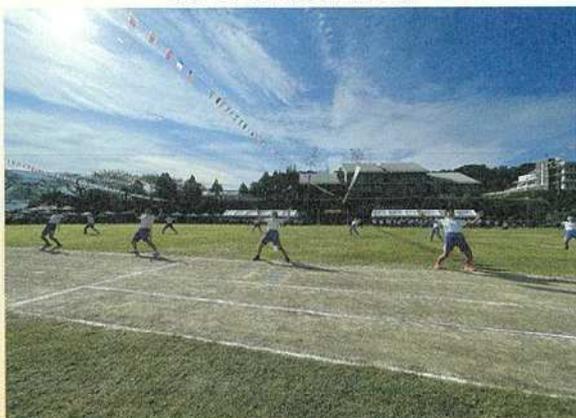
■議会傍聴のご案内

次回の定例会は12月の開会となります。皆様の傍聴をお待ちしております。お気軽にお問い合わせください。その他議会に対するご意見等もお聞かせください。

◎問い合わせ先 議会事務局 Tel.87-3808

秋の風景

■ 小学校運動会 ■



【宮水小学校】



【ドローンによる防除】



【日之影小学校】



【栗の選別作業】



【高巣野小学校】



【やぐらでの掛け干し】

編集後記

実りの秋を迎え、町内の棚田が黄金色に染まっています。コンバインの普及により、やぐらを組んだ稲の掛け干しもめずらしくなってきましたが、残したい田舎の原風景ですね。

2回目のコロナワクチン接種も終了し、感染症の一日も早い沈静化が望まれます。まだまだ残暑厳しい中でありませう。どうぞ自愛ください。

発行責任者

議長 一水輝明

議会報編集委員

委員長 高舘英嗣
副委員長 工藤英信
委員 小谷幸治
委員 小川輝久

小川 輝久